

## 地道な勧誘活動の継続を大切に

東京都府中市 四谷清流クラブ 会員数 110名

### ● 地道で粘り強い声かけ活動を実施

四谷清流クラブは、全老連「100万人会員増強運動」の4年目（平成29年度～平成30年度）に会員21名が純増し100名を突破しましたが、これは会員による地道な声かけ活動によるものです。

具体的には、以下のような活動によって21名純増を実現しました。

- ①会員募集のピラづくりとさまざまな場所へのピラの掲出により2名増。
- ②会の行事への参加呼びかけにより2名増。
- ③趣味の集いで口コミ勧誘で14名増（歩こう会で4名増、囲碁将棋の集いで2名増。グラウンド・ゴルフの集いで4名増、農園畑仕事の集いで4名増）。
- ④会員個人による友人・知人への勧誘で5名増。

以上の活動により23名が入会し、逆に2名が退会したため、21名の純増となりました。

### ● 知人・友人からの勧誘が効果的

会員増強に打ち出の小槌はなく、地道な勧誘活動の継続あるのみです。当クラブの成功例としては、入院中の会員が隣のベッドの患者さんを勧誘、引越して間もない高齢者を勧誘、市民農園で畑仲間を勧誘、囲碁や将棋、麻雀、カラオケといった趣味仲間を勧誘したなどがあげられます。

入会者から入会動機について聞き取りを行ったところ、知人・友人や趣味を同じくする人からの



役員会



役員会

勧誘がもっとも効果的だということが分かりました。また、はじめて入会を勧められて入った人も多く、中には勧誘されるまで老人会の存在も活動内容も知らなかったという人もいました。

大切なのは、面倒くさいと思ったり、断られたときにプライドが傷つくことを恐れず、繰り返し声をかけることだと思います。

### ● クラブの財政力強化を目指して

今後の課題は、入会会員の維持・受け入れ能力の強化、クラブの財政力の強化です。

会員の維持には、活動内容の充実が欠かせません。参加する喜びが生まれれば、会員が自然と周りの人にその楽しさを話すようになります。また、活動中に生まれる地域の中での助け合いや交流が自然と活動のPRとなります。こうしたことから、まずは活動内容の充実を図っていきたいと思います。

加えて、活動内容の充実を図るためには、補助金と会費だけに頼る運営には限界があり、クラブ自らが稼ぐ工夫をして余裕のある財政運営をすることが望ましいと考えています。そのため、当クラブでは4年前からリサイクル活動に取り組んでおり、年々活発化しています。会員一人ひとりがリサイクル資源を出すことで、参画している意識が生まれ、地域に貢献している自負も持っています。

ここがポイント！

● 会員増強に打ち出の小槌はなく、地道な勧誘活動の継続あるのみ

● 会員維持に向け、活動内容の充実と自主的な財政力の強化を目指す